



○きずな号でミニ喫茶『出張きずなハウス』はじめました！

6月から、町内5地区にある災害公営住宅を「きずな号」で訪れ、住民の皆様と交流を深める、『出張きずなハウス』をはじめました。「ちょっとお茶したいな」、「誰かと話したいな」と思った時に、気軽にご参加いただけるよう、オープンカフェのようなかたちで、飲み物のサービスのほか、駄菓子や「ポーちゃん焼き」の販売も行っています。現在、町内の災害公営住宅では、高齢化率が約43%、一番高いところでは100%となっており、買い物弱者や孤立、生活不活発病などが心配されます。定期的に開催されている社会福祉協議会による地区サロンに加え、少しでも見守り体制づくりにつながるよう開催していきます。先日開催した地区では、男性の参加者も多く、学校帰りの子ども達も加わり、賑やかなものとなりました。『出張きずなハウス』が町の皆様で盛り上がるよう、お手伝いいただける方の参加も大歓迎です！



「出張きずなハウス」
菖蒲田浜地区での様子

【参加者の声】

「ポーちゃん焼き食べたかったけど、きずなハウスまではなかなか行けなくてねえ」(80代女性)
「今度の休みに孫たちと会うから、駄菓子買っておくよ」(80代女性)
※この取り組みは、七ヶ浜町「心の復興」事業補助金の交付を受けて実施しています。

○人権啓発活動講演会『災害時におけるボランティア・NPOの役割～一人ひとりの人権を鑑みて』

6月26日(水)、RSY代表理事の栗田暢之が、七ヶ浜国際村ホールにて、「一人ひとりに届く支援」を通じて「人権」を大切にしてきた理由、そして「一人ひとりの復興」に向け、ボランティア・NPOが果たすべき役割について、講演させていただきました。七ヶ浜町での講演は、2006年の防災講演会以来となり、この時のご縁がきっかけで、東日本大震災発災直後から、七ヶ浜町での支援活動を、現在まで続けさせていただいております。



講演会の様子

今回の講演会にあわせ、震災直後からのボランティアとの交流の様子や現在のきずなハウスまで、七ヶ浜に想いを寄せ、応援し続けてきたボランティアと住民の8年間を振り返る写真を国際村ギャラリー「海物語」にて展示しています。みなさまお気に入りの写真に投票できる、参加型の写真展となっておりますので、ぜひ、足をお運びください。【入場料無料。7月21日(日)まで】

RSY 七ヶ浜の主な取組

6月

6月26日(水)
・2019年度人権啓発活動講演会
『災害時におけるボランティア・NPOの役割～一人ひとりの人権を鑑みて』

7月の予定

6月26日(水)～7月21日(日)
・10:00～17:00@七ヶ浜国際村ギャラリー「海物語」
・『We Love 七ヶ浜』写真展～住民とボランティアがつむぐ復興への歩み～



足湯の様子(2011年4月撮影)

7月28日(日)10:30～16:00
・Happiness主催ワークショップ

「参加した方にハッピーを届けたい！アートで幸せに！」。きずなハウスで、子どもから大人まで楽しめる約20種のワークショップが出店します！その他、軽食コーナーやみんなで作るアート作品も！ぜひ、ご参加ください！

7月の出張きずなハウス

(毎週金曜日、14時～15時開催)

- 5日 吉田浜災害公営住宅
- 12日 菖蒲田浜災害公営住宅
- 19日 花淵浜災害公営住宅
- 26日 代ヶ崎浜地区避難所

お茶出しなど、お手伝いいただける方、募集中！

七ヶ浜みんなの家きずなハウス

〒985-0802 宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山 5-9
生涯学習センター敷地内
TEL : 090-9020-5887 / Mail : info@rsy-nagoya.com
運営：認定NPO法人レスキューストックヤード

きずなハウス情報は
こちらから →
face book にて
「きずなハウス」で
ご検索ください。

